

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Blossamジュニア 大野教室 放課後等デイサービス			
○保護者評価実施期間	2025年2月3日 ～ 2025年2月28日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数)	1名
○従業者評価実施期間	2025年2月3日 ～ 2025年2月28日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月5日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	教室内の活動スペースが広く、様々なプログラムを取り入れることができる。	集団療育室、個別指導室（2部屋）、多目的室を設けており、十分な広さがあります。利用者の特性に合わせた療育内容によって、部屋を使い分けることができます。	広いスペースを生かして運動療育を積極的に取り入れていく。高学年、低学年、特性別等で部屋を区切り、より適切な療育を提供していく。
2	充実した活動支援プログラムの構築ができている。	5領域を踏まえて、集団療育指導案、個別療育指導案を準備している。 経験豊富なスタッフの強みを活かした支援が行えています。	小学生から高校生まで年齢幅、発達段階の差が大きいため、活動内容やグループ分けの工夫を行っていく。
3	ご家族へのサポート	ご家族とH u gで、お子さまのその日の支援内容や様子、写真を提供し、きめ細やかに連絡調整をしたり、お子さまの相談があればご家族と寄り添い、同じ方向性に導き出せるようにしている。	モニタリング面談・アセスメント面談の他にも家族支援として、面談等の時間を充実させ、共通理解を深めていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後等デイサービス利用児が少ないため、同年代との関わりがもてない。	開所して間もないこともあり、事業所の認知がされていない。	感染対策に気を付けながら地域交流（同年代のお子さま）が行えるよう検討していく。 宣伝活動をしていく。
2	幅広い年齢の方を受け入れているため、すべての利用者に見合った集団活動の設定が難しい。	小学校低学年から高校生、発達や障害の違いにより集団療育をどのように行っていくか職員間での課題になっている。	活動スペースが広いので、小集団にし特性に合わせた療育を行う。 曜日や時間で調整できるか検討していく。
3			